



「地域を広報する」 研修・ネットワーク事業

特定非営利活動法人森ノオト

活動

情報で地域社会をよくしていく、 4事業のつながりを意識

発信力UP講座は、地域の課題解決やつながりの創出といった、地域活動を担う市民団体の広報・発信力を高めることを目的とした事業です。人材や資金不足の課題から、情報発信が後手に回ることで、支援先のニーズをつかみ損ねたり、支援者や担い手が育たないといった負のループに陥りがちな団体に対して、「情報発信＝事業そのもの」というマインドとデザインや写真、文章などの具体的スキルを伝えてきました。こうした地域活動団体と、地域情報を発信しているローカルメディアをつなぐ「ローカルライター講座」、地域の人材をつなぐ「まちの編集者講座」も実施しました。

もう一つの事業の柱は、「ローカルメディアコンパス」です。基金事業の3年のうち、最初の1年半は、メディアリテラシー、SDGs、障害者理解、ファクトチェック、減災など、情報発信に関わる様々なテーマについてゲストスピーカーから学び参加者同士が対話する「ローカルメディアミーティング」を開催しました。

Check !



<事業基本データ>

事業分野 まちづくりの推進

実施期間 2017～2019 年度

補助金額 計 6,000 千円

その対話を元に、情報発信の際の行動指針が必要だと、スタッフの船本由佳さんが呼びかけ、メディア関係者の経験談から、情報発信者が対話を通して自らの行動指針を定めていくカード型のワークショップツール「ローカルメディアコンパス」を2020年2月に発売することができました。



▲ 3年間の事業の集大成として完成した
「ローカルメディアコンパス」

成果

個々のニーズに応じた支援策 で満足度 95%以上

発信力を高めることで、市民活動の理解者や担い手の裾野を広げるための「発信力UP講座」は、3年で 55 団体が受講し、満足度は 95%以上と好評でした。個別相談を設けて団体ごとの課題やニーズを聞き、プレスリリースの具体的発信手法、組織内の広報体制&フローづくり、団体のビジョンやミッションの策定といった、個々のニーズに応じた支援策を講じ、チェック体制をつくったことで、具体的な達成度を測ることができたことが大きいと考えられます。「ローカルライター講座」は、メディアで情報発信するためのマインドとスキルの双方を得られる講座でした。神奈川県内の7つのローカルメディアと連携し、修了生はそのメディアで活動できるような「つなぎ役」になりました。修了生のレポートは森ノオトで掲載し、個々の記事に読者がついて反響もありました。



担当者の
コメント

理事長
北原 まどか さん

基金 21 の奨励賞を経て、補助金を3年得たことで、「情報で地域をよくしていく」という森ノオトのローカルメディア事業が大きく羽ばたきました。神奈川県内のさまざまな NPO や市民団体とつながり、情報面での中間支援の足場を固めることができました。

「ローカルメディアコンパス」は制作過程で、新聞、テレビ、ラジオ、ローカルメディア、雑誌など様々なメディア経験者から 200 ものエピソードを集め、また、クラウドファンディングで 174 人から支援を受け 167 万 8,000 円の資金を調達しました。横浜を代表するデザイン会社「NDC グラフィックス」のデザイン、社会貢献企業「協進印刷」の印刷のもと、2020 年 2 月 29 日に 500 部を納品。コロナ禍で理想の対話型ワークショップはできませんが、オンラインワークショップで発信を続けています。



▲ 「ローカルメディアコンパス」。
49 枚のカードが入った対話を促すツール

NPO
法人

特定非営利活動法人
森ノオト

代表者 理事長 北原 まどか

設立 2013 年 1 月

住所 〒227-0033
横浜市青葉区鴨志田町 818-3

活動紹介 Web メディア「森ノオト」で市民ライターを育成し、情報で地域をつなげる「情報発信事業」、メディアでつながった人々と活動する地域交流事業、「捨てるとつくるを楽しくつなぐ」ものづくり事業の3本柱で事業展開中。



子どもがつくる地域メディア 「じもたんkids」

じもたんkids

活動

子どもが身近な人を 取材する！

じもたん kids は、子ども達が、取材活動を通じて、「身近なことから、世の中のことに興味を持てる」「地域に気軽にあいさつしあえる大人の友達をたくさんできる」こと、さらに「子ども達の記事をきっかけに地域でコミュニケーションの輪が広がる」ことを目指しています。

取材活動は、月に2回のペースで行い、kids 記者が書いた記事は、新聞などの紙媒体ほか、「宮前の働く人事典」(毎年1回、子どもたちの1年間の取材記事をA5版 30 ページ程度の冊子にまとめたもの)、じもたんkids のHPなどに掲載し、地域の方に気軽に読んでいただけるようにしています。

「宮前の働くひと事典」は、地域の小学校数校に毎年配布しています。このほか、地元のフリーペーパー「タウンニュース宮前区版」に、月1回のペースで kids 記者の記事を掲載していただいています。

Check !



<事業基本データ>

事業分野 まちづくりの推進

実施期間 2017～2019 年度

補助金額 計 1,362 千円



▲ 取材の様子



▲ 取材後、記事を書いている様子

成果

継続した広報による、 地元の認知度UP！

最大の成果は、地元である川崎市宮前区におけるじもたん kids の認知度が上がったことです。「宮前の働く人事典」約 4,500 部を制作し、毎年地域の小学校5、6校にそれを配布し続けることができた結果だと考えています。kids 記者の数も、毎年約 130 名程度(延べ人数)と安定しているのも、認知度あつてのことだと思います。



▲ 取材の様子



▲ イベントの様子

また、補助金をいただいた3年間は特に、「グループで運営する」「仕組みを作る」「自立する」ことにも力を入れました。特にグループ運営と仕組み作りの2点は、必要な作業を洗い出し、担当者を決める、役割ごとに作業マニュアルを作る、計画を立てる、といったことを行うことで作業をルーティン化しました。結果、余力が生まれ、じもたん kids の取材に関わる大人から子どもまでを招いたイベントも開催しました。



担当者の
コメント

会長
中田 真由美 さん

基金21の補助金のよい点は、人件費も出る点です。運営メンバーに遠慮なく継続的なサポートをお願いできるようになり、その分いろいろなチャレンジができました。一方で、計画をかなりしっかり立てなければならぬのが苦痛でした。でも、補助金の交付3年目にして、活動を続けていくためには、実はとても大事な作業なのだと気づき、今ではその点も含め基金21事務局の方に感謝しています。

任意
団体

じもたんkids

代表者 会長 中田 真由美

設立 2014年1月

住所 〒216-0033
川崎市宮前区宮崎2-7-21-101

活動紹介 川崎市宮前区の小中学生が取材して書いた記事を新聞などの紙媒体やHPなどで発信する活動をしています。これまでに宮前区エリアの140名以上の方を取材しています。



女性と防災のオリジナル寸劇と ワークショップの普及

特定非営利活動法人かながわ女性会議

活動

防災寸劇の普及と 防災ガイドブックの発行

1年目は、防災のオリジナル寸劇のシナリオ「女性と防災～女性の視点で見た被災地の現実～」にイラストなどを入れてわかりやすいものにして印刷をしました。それを用いて、男女共同参画関係やジェンダーに関心のある方たちの、講座などに対して私たちが出向いて講演やワークショップも組み合わせで普及をし、さらには、防災関連の研修会などでも実施してきました。大きなイベントの時は演劇集団や地域の方たちで上演しました。この防災寸劇はロールプレイングの形なので、参加型で進めてきており、お互いに違う立場が理解できるようになりました。

2年目は、外国人向けの防災劇と防災用語集も作り、外国の方もまじえて防災劇をフェスタなどで行いました。

3年目は、どうしたら多様な団体や各自が独自に取組めるようになるかを考え、それぞれのニーズに合わせて、福祉関係、ジェンダー関連などの分野別の内容で、防災ガイドブックを発行しました。

Check !



<事業基本データ>

事業分野 男女共同参画社会の形成の促進

実施期間 2017～2019 年度

補助金額 計 800 千円



▲ 演劇集団による防災寸劇の実施



◀ NPO 法人かながわ女性会議オリジナルシナリオ

成果

ワークショップ等を通じて 多様な視点を理解し、 分野別のガイドブックを作成

1、2年目は、寸劇とワークショップを男女共同参画センター、神奈川県内の各地域の公民館、町内会、神奈川大学の授業、自治体などで実施し、世代も多様な、また外国人たちとの交流を深めながら、防災時のジェンダーの視点についての理解を深めました。※1年目【イベント】神奈川大学(学生たち)90名、人権メッセージ展(みなとみらいにて多数の観客)【講座】川崎(幸区)10名、横浜(戸塚区)30名、(開成町)20名 2年目【イベント】小田原市50名、海老名市120名、鎌倉市10名 かながわボランティアフェスタ、アースフェスタ(外国人と一緒に)



◀ 防災ガイドブック

3年目は防災寸劇を各分野に整理し、新たに活用の仕方、コラムを加えてガイドブックとしてまとめて印刷しました。各分野別なので各地域や団体で気軽に取り組んでいただけるのではないかと考えました。しかし、現在のコロナ禍において、避難の在り方も変化しており、コロナ対策について防災ガイドブックを追加加筆中です。



担当者の
コメント

小林 英子 さん

3年間お世話になりました。基金 21 事務局の方に、貴重なアドバイスを頂き、成果物を3種類発行できたことに感謝です。自分の団体だけでなく、多様な方たちと活動を共有でき、お互いに向上できるこの基金 21、ぜひ皆様も体験されることを、お勧めします。本当にありがとうございました。これからも宜しく願います。

NPO
法人

特定非営利活動法人
かながわ女性会議

代表者 理事長 吉田 洋子

設立 2010年5月

住所 〒251-0054
藤沢市朝日町4-15
DMニューライフ湘南 205号室

活動紹介 ジェンダーの実現を目指して、神奈川県をベースに、行政などへの提言・男女共同参画推進活動・地域活動・ジェンダーについての出版などを行っている。



県内中間支援組織との協働による プロボノ・プラットフォーム展開事業

特定非営利活動法人サービスグラント

活動

県内 13 団体へのプロボノ支援 に加え、中間支援団体に向けた 伴走支援を実施

神奈川県内のボランティア団体の運営基盤強化と中間支援団体の育成を目的として事業を行いました。

ボランティア団体の運営基盤強化では、企業人等の経験・スキルを活かし、団体の課題解決を行うプロボノプロジェクトを立ち上げ、運営しました。県内各地にて7回の説明会を行い、13 団体を支援するプロジェクトが立ち上がり、58 名のプロボノワーカーが参加することとなりました。プロジェクトは、2019 年8月 24 日に開催したオリエンテーションを皮切りに、4～6ヶ月の期間を通じて、団体に対して具体的な成果物(営業資料、運営マニュアル、調査資料など)を作成し、納品しました。

また、プロジェクト成果について紹介する総括イベントを 2020 年2月 22 日に実施しました。

Check !



<事業基本データ>

実施期間 2019 年度

委託料 計 7,197 千円

加えて、神奈川県内の中間支援団体に対してプロボノのノウハウを学んでいただくために、①座学編として勉強会を計3回開催し4団体6名に参加いただきました。また、②実践編として5団体9名の方に、実際のプロボノプロジェクトの運営を担っていただき、サービスグラントにて伴走フォローを行いながら、合計 15 回のオンラインミーティングを実施しました。



▲ 団体とのキックオフミーティングの風景

成果

プロボノ経験で8割以上が意識に変化

全チームが、団体関係者へのヒアリングや調査を踏まえ、課題解決につながる具体的な成果物を提供しました。ボランティア団体へのアンケートでは、全団体から「支援を受けてよかった」との評価を得ました。また、成果物による課題解決だけでなく、「改めて自分たちの活動を見直し、成果やビジョンなどを確認できた」「モチベーションアップにつながった」といった副次的な効果もみられました。

プロボノワーカーのアンケートでは、8割以上の人が「社会問題や NPO・地域団体に対する見方や考え方が変わった」「ボランティア活動に関する興味関心が高まった」と回答。プロボノ経験が、多くの参加者の意識に変化をもたらしたことが確認できました。



◀ 真剣にディスカッションを行うプロボノチーム



担当者のコメント

代表理事
嵯峨 生馬 さん

2018 年度・2019 年度の事業を通じて、神奈川県内のボランティア団体の基盤強化、多くのプロボノワーカーの参加、中間支援団体に向けたノウハウ提供を実施することができました。これらの結果、ボランティア団体のプロボノによる支援実績が蓄積し、ボランティア活動の担い手の広がりにも寄与しました。今後は、神奈川県内の中間支援団体が、より積極的にプロボノの取組を進めていただくことを願っています。

中間支援団体の育成では、実践編に参加した中間支援団体に対するアンケートで、全団体が「満足」と回答しました。また、「プロボノ支援のノウハウやスキルが向上しました」といった声があり、神奈川県内での運営に参加した中間支援団体が自律的にプロボノプログラムを実施できる仕組みづくりの一助を担うことができました。

★ 参加団体の声 ★

● プロボノプロジェクト支援先

団体の課題をしっかりと踏まえ、その課題解決に向けて、ホームページの作成に取り組んでくださり、感謝しています。品質や完成度は高く、満足しております。(特定非営利活動法人ぜんしん／ウェブサイト制作)

● 中間支援団体

他市の中間支援組織の方と一緒に事業を進めるなかで、プロボノ事業に限らずこれからのセンターの運営に大変よいつながりができました(NPO 法人 YMCA コミュニティサポート／実践編参加)

NPO
法人

特定非営利活動法人
サービスグラント

代表者 代表理事 嵯峨 生馬

設立 2009 年 5 月

住所 〒150-0002
渋谷区渋谷 1-2-10 中里ビル4F

活動紹介 NPO や地域活動団体に対し、ビジネスで培ったスキルや経験を活かすプロボノプログラムを通じて、認知拡大、支援者の獲得につながる団体の運営基盤の強化を支援しています。